4 万人が犠牲となった旧陸軍被服廠跡の惨状

自然現象を「災害」にさせない

関東大震災100年記念連続学習会

今年は 10 万人を超える犠牲者を出した未曾有の大災害・関東大震災から 100 周年の年です。そしていま、首都直下地震、南海トラフ地震の切迫が指摘されています。しかし、石原都政以来の都政は、革新都政が築きあげた予防原則に立脚した防災のとりくみをなおざりにして、東京への過度の集中と超高層ビルによる開発をすすめ、東京の脆弱性を加速させています。

今回は、都市づくりの視点から災害に強い東京の実現について考えてみたいと思います

災害に強い都市づくり

講 師　岩見良太郎（埼玉大学名誉教授）

日　時：２月６日（月）18：30 開会

会　場：東京労働会館７階ラパスホール　最寄り駅：ＪＲ大塚駅／地下鉄丸ノ内線新大塚駅

参加費：５００円　※ 申し込み不要

ONLINE 下のアドレスか右のＱＲコードから入室してください

https://us02web.zoom.us/j/87024897611　ＩＤ：870 2489 7611

主催

東京災対連・革新都政をつくる会・防災首都圏懇談会・新建災害復興支援会議・新建築家技術者集団東京支部
ＮＰＯ法人設計協同フォーラム・ＮＰＯ都市住宅とまちづくり研究会

（連絡先）　東京災害対策連絡会　〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10 東京労働会館５階 東京地方労働組合評議会内
tel 03-5395-3171 fax 03-5395-3240